

平成 28 年度 子ども家庭支援センターの事業計画について

事業目標

目標：みんなですくすく 感動子育て 笑顔があふれるまち こだいら

- ・様々な子育て家庭を支える視点、安全安心な子育てが出来る環境を作る視点、地域で子育てを支える視点にたち、目標を達成するため努力する。
- ・地域の子どもとその家族一人ひとりの人格と個性を尊重し、子どもたちが心身ともに健やかに育つ町や社会を作ることを目指し、センターがそこに集うすべての子どもと大人にとって、安全で安心、大切にされていると感じることの出来る場になるよう、日々努力する。
- ・地域の子どもとその家族が抱える問題を受け止め、より良い解決に向かえるよう、専門性に基づき対応する。そして地域の人々や他の専門機関と連携して、子どもとその家族のニーズに合わせて、必要な支援を行う。

方針

- 信頼感の高い相談窓口になるよう相談活動を深める。0歳から18歳までの子どもと家庭に関するあらゆる相談に応じられるよう、スキルの向上に努め、所内で連携、利用者本位の相談を行う。必要に応じて専門相談として受けていく。
- 子育て交流広場活動の充実を図り、利用者同士のかかわりを助け、子育て交流広場での体験を通して利用者（親子、保護者）の成長を見守り支援する。子育て交流広場での遊びを通して、育児、子育て文化の伝承に触れる場を提供する。
- 地域活動事業の活性化として、子育て支援を考える会を社会福祉協議会と共催、発達を支援する会に参加、地域の人材資源と連携して子どもの育ち、発達、授乳、睡眠などについて子育て中の親たちに学ぶ場を提供する。
- 児童虐待防止機能を強化する。関係機関の連携、情報の共有化を図り、児童虐待の対応を速やかにする。
- ひろばの機能を生かして、子育ての楽しさを共有できるよう要支援家庭を支援する。出張ひろばを通してひろばの相談機能を市内で普及させる。ひろばから相談へ、相談からひろばへ繋げる。
- （仮）中高生相談室の準備、開設に取り組む。青少年のための単なる居場所ではなく、相談を通して課題を抱えた中高生に寄り添った支援を行う場として環境整備、および運営にあたる。また、拡張スペースも含めた、子ども家庭支援センター全体の環境整備を行う。

事業の内容

1. 子育て交流広場（常設）

- (1) 乳幼児、保護者の交流の促進を図るとともに、子育て相談を常時実施する。
- (2) 各年齢別講座 0歳さんあつまれ（0歳から1歳頃まで）1歳さんあつまれ（1歳児）まつぼっくりのひろば（1歳から3歳頃まで）
- (3) 季節の行事等 ・誕生会・ちくちくの時間（手芸）・絵本の会
- (4) 保護者主体の活動 ・ふたごちゃんの家 ・ヨガ、・わらべうた他
・季節の行事（クリスマス会、コンサート等）・あげますください（資源の有効活用と交流）
- (5) りぼんの会（助産師さんによる育児相談）（毎月）
- (6) 自主サークル ・まもらっこ（障がい児を持つ親の会）・おひさまキッズ（2歳以上の未就園児）
- (7) 出張ひろば 市内地域センター各所に出張して、相談を受けやすくするためのプログラムを行う。

2. 体験学習事業

- (1) 父親対象プログラム (2) 子育て講座（「イヤイヤ期の子育て」「コミュニケーションと言葉の育ち」等） (3) ペアレント・トレーニング（家族関係・虐待防止）講座

3. 相談事業

- (1) 面接相談、電話相談、メール相談、ひろば相談 (2) 市の虐待相談窓口
- (3) 専門相談（発達相談、心の育ち、言語、家族問題等）
- (4) のびのび子育て応援事業受付相談 (5) ショートステイ事業受付相談
- (6) 出張ひろば相談 (7) 【新規】（仮）中高生相談室の開設（2月より）

4. 先駆型子ども家庭支援センターに係る事業・虐待防止事業

- (1) 市の虐待通告窓口、訪問、面談、調査、アセスメント等、小平児童相談所との連携。
- (2) 要保護児童対策地域協議会代表者会議及び実務者会議、個別ケース検討会に出席。
- (3) 関係機関との調整、個別ケース検討会開催。
- (4) 要保護児童事例検討会（小平児童相談所、子育て支援課、健康推進課、保育指導課、月一回）、小平児童相談所との進行管理
- (5) 養育家庭体験発表会等里親制度普及啓発活動

5. 情報提供事業

- (1) センター便り（毎月） (2) ホームページでの情報発信、メールでの問い合わせ
- (3) ポスターちらし (4) 子育てガイドの編集・発行など (5) 地域子育て情報の収集・提供など
- (6) 市民対象の子育て講座などの開催

6. ネットワーク

- (1) 要保護児童対策地域協議会、代表者会議、実務者会及び個別ケース検討会の活用
- (2) 関係機関との連携
市関係課、児童相談所、児童養護施設、教育相談室、小中学校、特別支援学校、児童館、学童クラブ、保育園、幼稚園、社会福祉協議会、保健所、民生委員児童委員、療育施設、医療機関、警察署、医師会、歯科医師会、地域センター等
地区連絡協議会、発達を支援する会、特別支援学校運営協議会、特別支援教育連絡会実務者部会、他市子ども家庭支援センター、東京都市子ども家庭支援センター長連絡会、元気村連絡会等
- (3) ケースワーク上の各関係機関との連携
- (4) ファミリー・サポート・センターとの連携及び講師派遣
- (5) 子育て・女性相談室（子育て相談室）との連携・相談
- (6) 関係機関との連絡会、学習会、事例検討会等参加（学校運営協議会、発達を支援する会参加等）
- (7) 各種研修の開催（育児支援ヘルパー研修、市相談員への研修「子育て支援を考える会」、「ここぷらっと」ほか）

7. 地域組織化活動

- (1) 職場体験学習事業中高生等の受入 (2) ボランティアの育成 (3) ボランティア活動の場提供とフォロー (4) 子育て支援を考える会（社協との共催） (5) ママサークルの支援、近隣地域との協力

8. 子育て支援にかかるサービスの提供窓口、連絡調整

- (1) 子どもショートステイ事業
- (2) のびのび子育て応援事業（育児支援ヘルパー派遣事業）

9. モニタリングの実施

- ・利用者アンケートの実施、掲示等

職員体制

センター長 1名 ・ 虐待対策コーディネーター 1名 ・ 虐待対策ワーカー 3名 (2月より4名)
子ども家庭支援ワーカー 3名 (2月より4名) ・ 地域活動ワーカー 1名
子育て広場担当 2名
(非常勤) 専門相談員 2名 ・ スーパーバイザー 2名